

信州スカイパーク練習会 2008 年 9 月 27 日 長野県松本市

一見・お気楽練習会。だがそこはミステリーゾーンを巡りながらも秒差を競い合う楽しいレース。

2008 年 9 月 27 日 長野県松本市
信州スカイパーク練習会

まるでナスカ！巨大地上絵

9 月に信州スカイパークで練習会をやろうという話になり、これに間に合わせるべく地図の追加調査を行った。

草原の中に新たに作られた花壇を地図に書き入れるべく、GPS を腕に花壇の淵に沿って走り回った。

GPS が吐き出すファイルを OCAD に読み込んでみると、そこに浮かび上がったのは鳥の形をした巨大な図形だった。

「まるでナスカ」。花壇の近くではその形は認識できない。上空から見えるように作られた図形なのだ。そう、信州スカイパークとは松本空港をぐるりと囲む緑地公園なのだ。

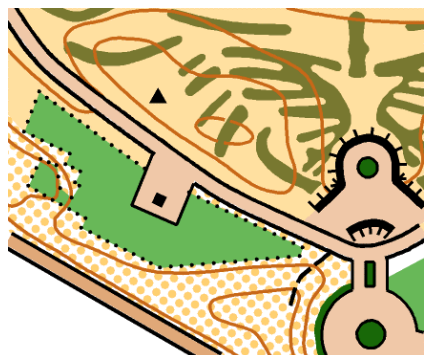
鳥の目を持つものだけが見ることができる地上絵。しかし地図の力を借りればオリエンテーリング競技者もこの地上絵を認識できるのだ。

もちろん、オリエンテーリングコースはこの地上絵の隙間をすり抜けて行くように設定した。

通行困難？巨大迷路

トレインの中にはほかに面白いところがある。植込で作られた巨大迷路だ。さすがに迷路を 0-map で表記することは難しく、地図表現上は通行困難なヤブの塊で表記している。

入口は入りやすそうだが、反対側に抜けることができない。



トレインにある巨大迷路。現地では走行可能な森林に見えるが反対側に抜けられない。



信州スカイパークで新規に作成された花壇群。
現地ではただの花壇にしか見えないが、地図では地上絵が浮かびあがった。

ミサイル基地？凹地群

また、この公園にはナゾの凹地群がある。直径 20m、深さ 5m の穴。まるで大陸間ミサイルの発射基地のよう。

カルスト地形のドリーネとも違い、明らかに人工的なものである。そんな変な地形が平坦な公園コースにアクセントを加えてくれる。

50 分/10km のスピード感

空港を一周するトレインは、公園とは思えない 10km という直線距離コースを提供できる広さ。それでいて総アップが 90m 程度というスピード感溢れるコースを提供することができた。上位はこれを 50 分ほどで回ってくる。別段トリッキーなコースではないが、ハイスピードを長時間維持するというだけで緊張感溢れるレースになったはずだ。

アスリートからファミリーまで

運営者 2 名という気楽なイベントだったが天気もよく 70 名の参加者が公園でのオリエンテーリングを楽しんだ。

10km のコースを駆け抜けたアスリートから完走狙いのおじさん、3km の冒険に挑戦した小学生、1km コースをベビーカーとともにヨチヨチ歩いた家族連れ。

実に広い参加者層に楽しんでいただけたイベントになった。

この練習会はずっと信州大学の OB 会のイベントとして企画されたもの。子供を連れた元オリエンティアがこうして戻ってきてくれるのは嬉しい。

4 日前に大学大会を終えたばかりの名古屋大学学生も多数参加していた。10km コースだけでは飽き足らず、3km コースも走り回っていた。1 ヶ月後に迫ったインカレロング 2008 に向かって走りこんでいる姿が見られた。

上位結果

スーパーチャレンジ - 10400m

1 丸山茂樹	0:51:55	長野県協会
2 篠原岳夫	0:52:41	渋谷で走る会
3 源後知行	0:53:00	ぞんぴ〜ず

チャレンジ - 3100m

1 林 真一	0:13:41	名大 OLC
2 谷川友太	0:14:14	名大 OLC
3 片岡裕太郎	0:14:33	名大 OLC

ファミリー - 900m

1 鈴木健太郎	0:14:49	信大 15 期
2 長谷川哲也	0:18:47	信大 15 期
3 杉山純子	0:22:50	信大 16 期

(木村佳司)